

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

40艇がすいすい

田辺カヌー協会 文里湾で初漕ぎ

田辺カヌー協会は2日、田辺市文里湾で年始めの恒例行事「新春初漕(こぎ)」を開いた。協会員らがカヌー約40艇を出し、冬晴れの海上をすいすいと漕いでカヌーを楽しんだ。



初漕ぎでパドルを上げてポーズをとる参加者(田辺市文里湾で)

初漕ぎは1985年からの始まりで30回目。今年は神島高校と田辺工業高校の両カヌー部による「田辺カヌースプリントクラブ」のメンバーら約70人が参加した。

同市新庄町の神島高校カヌー部の艇庫を出発し、湾内を回った。赤や青、黄色など色鮮やかなカヌーが陽光照り返す海面の波間をゆったりと進んでいた。

2012年のロンドン五輪カヌー競技で8位に入賞した同市秋津町の阪本直也選手(25)も初漕ぎに参加。「8月にロシアで行われる世界選手権でメダルを取れるよう頑張りたい」と抱負を語った。

クラブキャプテンの神島高校2年生、吉田南翔君(16)は「さすがにいい気持ちで漕ぐことができて良かった」と話し、田辺カヌー協会の谷地利和理事長(41)は「今年はわかやま国体のリハーサル大会、来年は国体本番。カヌーを盛り上げたい」と話した。